

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
共通教育科目	115	1年	前期	臨床検査学科	必修	初学者ゼミ Introduction to University Learning	30	1
担当教員								
草薙 康城	脇坂 浩之	鳥居 順子		仲渡 江美		金澤 知典	尾上 智子	
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
<input type="radio"/>	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
大学生として「能動的な情報収集力」や「論理的思考力」、「批判的思考力（クリティカル・シンキング）」について、演習を通じて体験的にその重要性や必要性について気づき、大学で自立的に学ぶことの意義を理解する。								
到達目標（授業目標）								
①大学で自立的に学ぶことの心構えをもち、学びを見通すことができる。								
②ディスカッションを通して自身の考えを再構成することができる。								
③自身の力で課題に応じた情報や文献を検索することができる。								
④情報や文献を読解して内容を要約することができる。								
⑤課題に応じたレポートを作成することができる。								
回 授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	大学で「学ぶ」ことの意味やこの授業の目標 ①担当教員の紹介 ②この授業の学習目標を伝える体験ワーク（PW）（全教員）							
2回	大学を知ろう（1） ①大学生活と高校生活の違い、②大学で「学ぶ」ためのルールを知ろう！（鳥居）							
3回	大学を知ろう（2） ①教員とのつきあい方 「メールの出し方」、「オフィスアワーの使い方」、②キャンパス・ハラスメント、③タイム・マネジメントについて体験ワークを行いながら教授する。（金澤）							

4回	ノートの取り方 ①授業スタイルに合わせたノート・テイキング：3つのタイプ（板書中心、ハンドアウト中心、テキスト中心）の授業体験ワーク②社会人・医療職者として求められる力とは？（脇坂）
5回	テキストの読み方（1） ①大学で求められる「読み」のレベルとは？ ②論理展開のパターン・練習ワーク（PW）③要約課題（HW）（草薙）
6回	テキストの読み方（2） ①読むべきテキストの探し方（図書館の利用の仕方）、②要約のしかた（PW←AS）、③要約課題（HW）（脇坂）

7回	テキストの読み方 (2) ①読むべきテキストの探し方 (図書館の利用の仕方)、②要約のしかた (PW←AS)、③要約課題 (HW) (全選)
8回	きちんと考える方法 (1) ①事実と意見を区別する (PW) ②クリティカル・シンキングを体験しよう (PW) (草薙)
9回	きちんと考える方法 (2) 筋道立てて考える ①ブレインストーミング、②「なぜ」の連鎖 (全教員)
10回	きちんと考える方法 (3) 根拠立てて考える ①クロス・ロード「食の安全」編 (全教員)
11回	きちんと考える方法 (4) 視点を変えて考える ①ディスカッションを通じて、疑問点を抽出し、理解を深める (全教員)
12回	レポート・論文の書き方 (1) 《基本編》①小論文とレポートの違い (PW)、②引用の仕方、事実と意見の書き分け、③いろいろなレポートのタイプ (尾上)
13回	レポート・論文の書き方 (2) ①課題の要求する内容を理解する、根拠に基づき論を展開する。(仲渡)
14回	レポート・論文の書き方 (3) ①よいレポートとは (HW) (仲渡)
15回	初學者ゼミのまとめ ①全体のふり返り (全教員)
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	
成績評価方法及び基準	
授業時間内課題 (70%) や、レポート (30%) により評価する。トータル60点以上を合格とする。	
教科書	藤田哲也「大学基礎講座－充実した大学生活をおくるために－」(北大路書房)
参考図書等	必要時適宜紹介する。
授業時間外の学習について (授業準備のための指示)	
毎回、予習復習課題について提示する。	
関連科目	
前科目	
後科目	全科目
実務家教員	
備考	PW: ペア・ワーク、GW: グループ・ワーク、HW: ホーム・ワーク、AS: アドバイス・シートの活用を示す。